

特殊詐欺の認知状況（平成31年4月末） ～ 架空請求詐欺被害が大多数 ～

1 県内の特殊詐欺の認知状況（平成31年4月末現在）

- 被害認知件数は**11件**（前年同期比－6件）
- 被害額は**約1億5,360万円**（前年同期比＋約1億2,360万円）
- 架空請求詐欺が大多数（11件中9件）

2 平成31年4月の認知状況

- 被害認知件数は3件（前年同月比±0件）
- 被害額は約490万円（前年同月比＋約390万円）
- 手口別では、
 - ・ 架空請求詐欺 2件
（内訳）
 有料サイト利用料金等名目 1件
 その他各種サービス利用料金等名目 1件

3 4月の特殊詐欺予兆事案の紹介 ～不審電話の連続発生～

【NHK職員を名乗る不審電話】

NHK職員を名乗る男から県内に居住する高齢者に対して、

- ・ 一人暮らしですか
- ・ 預金額はいくらですか

などと個人情報を聞き出そうとする不審電話が相次いでかかってきました。

【警察官を名乗る不審電話】

警視庁の警察官を名乗る男から県内に居住する女性に対して、

- ・ あなた名義の口座が特殊詐欺の振込先として使われている
- ・ 事件と無関係であることを確認するため、開設している金融機関名と口座番号、預金残高を教えてください

などという不審電話が相次いでかかってきました。



住所、氏名、預貯金、個人情報等を電話で尋ねられても絶対に答えないでください。

電話でお金のお話が出たら詐欺を疑い、家族や警察に相談しましょう。

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	平成31年4月末		
	男性	女性	計
～ 19	-	-	-
20 ～ 29	-	-	-
30 ～ 39	2	1	3
40 ～ 49	-	-	-
50 ～ 59	-	1	1
60 ～ 64	1	-	1
65 ～ 69	1	1	2
70 ～ 79	1	1	2
80 ～ 89	-	1	1
90 ～	-	1	1
合計	5	6	11
内65歳以上の高齢者	2	4	6

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	平成31年4月末 件数
振込型 （犯人が指定する口座に振り込ませる）	3
現金手交型 （犯人が直接現金を受け取る）	-
現金送付型 （郵便や宅配便などで現金を送らせる）	2
電子マネー型（コンビニで電子マネーを購入させる）	5
キャッシュカード受取型	1
収納代行利用型（コンビニ決済）	-
合計	11

幅広い世代で被害が発生！

電子マネーを購入させる被害が多発！